## 第8章 計画の評価及び進捗管理

## 8-1 評価指標の設定

まちづくりの方針(ねらい)及び誘導方針に対応する評価指標及び目標値を以下に設定します。また、評価指標の目標を達成することで得られる効果を測る効果指標をあわせて設定します。

まちづくりの方針 (ねらい)	指標
身近に都市機能が分	【都市機能】
布する便利で快適に	● - 1都市機能誘導区域内への地域活性化施設の新規立地件数
日常生活がおくれる	現状値
まち	目指す 目標値 緒川駅周辺、東浦駅周辺で
	方向性   (2040)   各 2 施設以上
	<ul><li>● - 2生活利便施設の徒歩圏カバー率</li></ul>
	現状値 医療施設:92.1% 福祉施設:91.0%
	商業施設:54.2% (R2 (2020))
	目指す 方向性 → 目標値 (2040) 現状値以上
	※生活利便施設からの徒歩圏域は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンド
	ブック(平成 26(2014)年 8 月)」を参照し、一般的な徒歩圏 800m を採用。 ※現状値は令和 2(2020)年時点の 100m メッシュ人口より集計。なお、メッシュが
	徒歩圏内外にまたがる場合は、面積按分により算出。
	【居住】
	<ul><li>● - 3居住誘導区域内の可住地人口密度</li></ul>
	現状値 93.3 人/ha (R2 (2020))
	日指す
	方向性 → (2040) 80 人/ha 以上
	※居住誘導区域面積 660.78ha ※可住地面積(H30 都市計画基礎調査を基に集計)450.89ha
	※都市計画運用指針では、住宅用地の人口密度について、土地の高度利用を図るべ
	き区域は 100 人/ha、その他区域 80 人/ ha、土地利用密度の低い地域で 60 人
	/ ha 以上とすることを基本とすることが望ましいとされている。
	● - 4空き家の利活用件数
	現状値 2 件
	目指す   目標値   17 件
	方向性   / (2040)   17 円   ※総合計画の考え方を踏襲し、年間1件の利活用を想定し目標値を設定(本計画策定
	後から目標年度までの空き家の利活用件数)
	【効果を測る指標】
	■「永住したい」、または「当分住み続けたい」の回答の割合
	現状値 84.9% (H29 (2017) 住民意識調査)
	目指す
	741414

まちづくりの方針 (ねらい)	指標
鉄道駅や公共施設等	【公共交通】
に行きやすい気軽に	❷ - 1 鉄道駅・バス停の徒歩圏人口カバー率
外出できるまち	現状値 95.1% (R2 (2020))
	目指す
	※鉄道駅、バス停からの徒歩圏域は、国土交通省の「都市構造の評価に関するハンド
	ブック(平成 26(2014)年 8 月)」を参照し、鉄道駅は 800m、バス停は 300m を
	採用。 ※現状値は令和 2(2020)年時点の 100m メッシュ人口より集計。なお、メッシュが 徒歩圏内外にまたがる場合は、面積按分により算出。
	【 <b>効果を測る指標】</b> ■「公共交通機関、町運行バス「う・ら・ら」」に対する「満足」「まあ満足」の回答の割合 現状値 30.1%(H29(2017)住民意識調査)
	目指す
	方向性 (2040) 現状値以上
安心して住み続けら	【防災】
れるまちづくり	● - 1 自主防災訓練数
	現状値 19回/年(H29(2017))
	目指す
	※総合計画の考え方を踏襲し、自主防災組織で年2回以上実施を想定し目標値を設 定
	❸ - 2防災協定施設の新規件数
	現状値 一
	目指す
	<b>3</b> - 3公共下水道雨水整備率
	現状値 55.6% (H29 (2017))
	目指す
	※目標値は総合計画の 2023 年目標値と整合しており、2023 年以降は計画改定に合わせて目標値も見直します。
	【効果を測る指標】 ■「防災などの安全なまちづくり」に対する「満足」「まあ満足」の回答 の割合
	現状値   31.3%(H29(2017)住民意識調査)   日標値
	目指す   プ   目標値   32%以上
W [Hoo (6515) /) ====	       識調査」は、「第6次東浦町総合計画」の策定に向けて平成 29 年8月に 16 歳以_

<sup>※「</sup>H29 (2017) 住民意識調査」は、「第6次東浦町総合計画」の策定に向けて平成29年8月に16歳以上 の町民を対象に実施したアンケート調査

## 8-2 進捗管理の方針

本計画は、概ね 20 年後の令和 22 (2040) 年度を目標とする長期的な計画です。このため、計画の 進捗状況を確認するため、概ね 5 年ごとを目安に、本計画に定めた施策の実施状況や評価指標の推移 等について定期的に調査、分析します。

また、計画の進捗状況等を踏まえ、必要に応じて適宜、本計画の見直しを行うなど、柔軟な進行管理を行います。

